

人高BYH構想

～地域と連携した教科横断的な探究活動による、未来の復興を担う人材の育成～

1 事業の背景と主題の設定理由

人吉高校では地域の魅力を再確認することに始まり、地域や社会の様々な課題を捉えて解決法を探る「BYHプログラム」を総合的な探究の時間に実施している。「BYH」とは、“Broaden Your Horizons”の頭文字を取ったもので、探究活動を通じて、「自分の世界を広げていく」という意味を持たせている。

人吉球磨地域は令和2年7月の豪雨災害からの復興途上であるが、地域の将来を担うのはまさに現在の高校在学中の生徒たちである。今回の事業指定でさらにこのプログラムの深化を図り、改めて地域を知り、自分事として地域の課題を捉えて探究し、地域のこれからを考える人材の育成を目的としている。

2 事業概要

BYHプログラム（総探）のカリキュラム開発と実践、検証を行う。ICT環境を活用して、教科を超えた探究活動を進める。人吉市をはじめ地元自治体や観光、歴史・文化、地域産業等の関連団体と連携して、地域課題解決のための課題発見および解決法を探るための探究活動を多面的に展開する。

今年度は、「BYHプログラム」および「コーディネーター活用」の2つの取組を進め、総合的な探究の時間のカリキュラム開発を軸に本事業を行った。

3 具体的活動紹介

BYHプログラム (地域課題解決に向けた探究活動)

地域理解プログラム



コンソーシアム委員（地元企業や人吉球磨観光地域づくり協議会の方など）にご講話いただき、地域の魅力や課題に気づく機会とした。

フィールドワーク



地域内を3コースに分け、その場所に詳しい方の講話と併せてフィールドワークを行った。

VRの活用



クラスでVRを体験し、VR特化チームを編成して、VRの活用を図った。

コーディネーターの活用

コーディネーターによる講演



地域と学校をつなげるコーディネーターの自己紹介や役割を生徒に伝えた。

「地域人」の活用



コーディネーターが紹介してくれた地域人材を「地域人」と称し、ブースを設け、テーマ設定に関して、アドバイスをいただいた。

コーディネーターによるプレゼンテーション講座



地元企業の社長をゲストに、コーディネーターによる模擬プレゼンテーションを行った。